

プリセプターシッププログラム

平成25年3月27日修正

	プリセプターシップ	プリセプター	プリセプティー	フォロー体制
			(番号は到達目標)	
3月	プリセプターオリエンテーション	* プリセプターオリエンテーション プリセプターの役割が理解できる 看護長と面接(目標・新人教育について)		プリセプターの任命 ペアリング決定
4月 (1か月)	・第1週 ・第2週 ～3週 週3日以上一緒に勤務	4月中はできるだけマンツーマンで指導 ・看護手順、基準を参考に指導 ・到達目標に添って指導する ・代行指導者の確認 ・代行指導者とのコミュニケーション ・技術チェック実施 ・リアリティーショック(必要時面接・指導)	オリエンテーション ①部署の概要が分かる。 ②社会人としての自覚を持ち責任をもった行動ができる。 ③勤務部署の特殊性が解る ④日常業務が理解でき助言を受けながら実践できる。 ⑤適切な報告ができる。 ⑥コミュニケーションがとれる。	スタッフ紹介 オリエンテーション * フォローアップ ・新人・プリセプター面接
5月 (2か月)	・週1回程度一緒に勤務 (役割を担いながらでよい) * 看護の日に一緒に イベント参加	・スタッフとの意見交換・情報共有 ・指導内容の修正 ・振り返りシート確認・コメント記入 ・看護観レポート確認	・1ヶ月振り返りシート記入 ・看護観レポート提出 ・日勤はプリセプターから離れ、他スタッフから指導を受ける。 ・スタッフとコミュニケーションがとれる。	・看護長・新人1か月面接 (振り返り・看護観レポート提出後で良い)
6月 (3か月)	・週1回程度一緒に勤務 (役割を担いながらでよい)	・傾聴の姿勢で臨む(メンタルサポート) ・技術チェック実施 ・外来業務体験に向けての説明・指導・評価 ・振り返りシート確認・コメント記入	・技術チェックリスト記入 ・技術研修出席(県看護協会) ・外来体験学習ができる。 ・3ヶ月振り返りシート記入	* フォローアップ ・新人・プリセプター面接 ・看護長・新人面接
7月 (4か月)	* 入職後一緒に院内研修参加 (コミュニケーション)	・プリセプター相互の悩みや問題点を共有し今後の効果的な支援方法糸口を見出す ・外来業務体験に向けて説明・指導・評価 ・技術面に関しては、プリセプティーに確認しながらチェックリストを評価する ・経験不足の技術についてはスタッフに伝達しなるべく経験出来るように働きかける	①自己の振り返りえが出来て、疑問な部分、自信がない部分を解決できる。 ②日祭日常務(日勤)見習いフリー業務ができる ③未経験技術を確立し積極的に経験する	* フォローアップ ・情報共有 (看護長、主任・プリセプター)教育委員を入れる * スタッフ間でのサポート体制の強化(話所会)
8月 (5か月)		・到達目標チェック ・傾聴の姿勢(メンタルサポート) ・退出業務等夜勤開始に向けての準備	①夜勤・退出・外来業務が理解できる。 ②外来体験学習ができる。 ③退出、外来業務、夜勤に関して疑問、自信がない部分を解決できる。 ④日祭日業務の一人立ちが出来る。	* フォローアップ (看護長、プリセプター面接) * 夜勤等開始に向けて評価
9月 (6か月)		・夜勤見習開始に向けての説明・指導・評価 ・技術チェックリスト、到達目標確認 ・振り返りシート確認・コメント記入	①チームメンバーの役割を理解し実践できる ②夜勤に関して疑問、自信がない部分を解決できる ③夜勤で担当業務が責任を持って出来る。 ・技術チェックリスト・到達目標記入 ・振り返り記入	* フォローアップ ・看護長、プリセプター面接 ・新人プリセプター面接
10月 (7か月)	・日勤1～2回／月 夜勤1回程度／月	・優先順位を考えた実践に向けての支援 ・ケースレポートの選考 相談に乗り支援する ・夜勤一人立ち(3人夜勤のメンバー)	①受け持ち患者の看護計画の立案、看護過程の実践、必要時カンファレンスの提案ができる。 ②夜勤で担当業務が責任を持って出来る。	* 夜勤開始後評価
11月 (10か月)		・ケースレポートの助言	・ケースレポートのまとめ・提出	
12月 (11か月)		・技術チェックリスト・到達目標確認 ・看護観レポート確認 ・振り返りシート確認コメント記入・看護観記入	・看護観レポート提出 ・技術チェックリスト記入 ・振り返り記入	・新人、プリセプター面接
3月 (12か月)		・ケースレポート又は看護観の発表支援 成長したこと、課題を明確にする	①問題提起でき、積極的に解決する姿勢を持つ ②成果発表会で発表が出来る。 ③努力してきたこと、できなかったことを明確にし、2年目に向けての課題とする	* フォローアップ ・看護長・プリセプター面接 ・看護長・新人面談

* フォローアップ体制については、病院全体でのサポートを考慮する。

(部署の教育委員(研修責任者)の活用(プリセプター会に参加させるのも一方法)

* プリセプターシップガイドライン(大井田病院)参照

大井田病院 看護在宅事業部